

普賢岳登山：雲仙で登頂可能な最高峰

普賢岳で登山を1日楽しみたい方には、雲仙温泉町から始まる中級～上級レベルのハイキングコースがあります。また、短めのコースは仁田峠雲仙ロープウェイ駅（1,080m）、または妙見岳にある山頂駅（1,333m）から始まります。1990年の噴火でできた、半島最高峰の平成新山は、未だ登山者立ち入り禁止となっていますが、国見岳と普賢岳へのルートは通行可能です。この山道では狭い尾根を渡り、苔むした谷間を抜け、ゴツゴツした石段を上り下りし、洞穴の口や岩がゴロゴロしているドームの横を通ったりと、変化に富んだ地形を楽しめます。中には、みんなに愛される宮崎駿のアニメに出てきそうな景色から「ジブリワールド」とでも呼べそうなスポットもあります。

広大な景色と火山岩層

高地では天候が非常に変わりやすく、山々の頂きはしばしば濃霧の壁に飲まれ視界が妨げられますが、晴れていれば道中の景色は壮観です。間近に見る溶岩ドームの姿は圧巻で、見どころの一つとなっています。かつて溶岩洞窟とつながっており、明治時代（1868～1912年）には蚕種の保管に使われていた石造建物の廃墟も要チェックです。また、これに負けないほど興味深いのが、あちこちにみられる不思議な形の火山岩層や地形です。これには、最近の噴火で放出された、表面のひび割れた石ころ、別名「パン皮状火山弾」も含まれます。標高1,359mの普賢岳の山頂には、岩石の露頭があちこちにあり、写真映え抜群です。登山者は、晴れた日には遠く阿蘇山まで広がる景色を一望することができます。時には、はるか140何km離れた鹿児島島の桜島まで見渡せることも！

ロープウェイの山頂側の駅から普賢岳まで登り、ロープウェイの山麓側の駅まで戻るルートにかかる時間は3～4時間です。